

会報・案内

平成16年度第4回理事会議事録

日 時：平成16年5月10日(月)14:00～17:00
 場 所：社団法人 日本医学放射線学会 事務所会議室
 司 会：遠藤啓吾理事長
 出 席：(理事)池田 恢，石垣武男，大友 邦
 隈崎達夫会長，久保敦司，杉村和朗，田村正三
 中村仁信，西谷 弘，早淵尚文，本田 浩
 平岡真寛，松井 修，宮坂和男
 (監事)伊藤勝陽，榎林 勇

欠 席：(理事)山田章吾
 議 題：

1. 前回議事録の承認
2. 第64回日本医学放射線学会総会について
3. 第40回日本医学放射線学会秋季臨床大会について
4. 新理事会担当理事について
5. 会計について
6. 各種委員会委員推薦について
7. 日本医療機能評価機構から
8. 線量計校正監理委員会委員候補推薦依頼について
9. 会告の承認

4月号(事後報告)

- 第40回日本医学放射線学会秋季臨床大会案内II
- 第18回胸部放射線研究会案内
- 第17回頭頸部放射線研究会案内
- 第17回電子情報研究会案内
- 第14回救急放射線研究会案内

5月号 第63回日本医学放射線学会総会案内I

- 第33回断層映像研究会案内
- 第18回医学物理士認定試験受験資格認定のお知らせ
- 第18回医学物理士認定試験のお知らせ
- 第28回日本医学放射線学会医療用標準線量研究会案内

報告事項

1. 委員会報告
 - 放射線防護委員会
 - 将来計画委員会
2. その他
 - 申し送り事項追加

議 事：

1. 前回議事録の承認

前回議事録(案)を一部訂正し承認した。

2. 第64回日本医学放射線学会総会について

石垣会長より第64回総会準備状況の報告がなされた。会期は平成17年4月8日～10日、会場はパシフィコ横浜、メインテーマ「わ」で開催予定、演題受付、演題発表については前回通り、またポスターセッションについては電子ポスターを検討中である旨の報告がなされた。

3. 第40回日本医学放射線学会秋季臨床大会について

宗近大会長より第40回日本医学放射線学会秋季臨床大会会告案内について資料が提出された。

4. 新理事会担当理事について

遠藤理事長より各理事の希望を基に作成した役割分担案について説明があり、これについて協議し下記のように決定した。複数の理事を配したところは筆頭者を責任者(委員長)とする。

理事長	遠藤啓吾
第64回会長	石垣武男
庶務理事	大友 邦
会計担当理事	隈崎達夫
編集委員会担当理事	久保敦司，本田 浩(名簿刊行担当)，池田 恢
広報担当理事	西谷 弘
学術・研究担当理事(含ガイドライン作成)	平岡真寛，杉村和朗
倫理委員会担当理事	山田章吾，田村正三
医療事故防止委員会担当理事	田村正三，山田章吾
放射線科専門医認定委員会担当理事	松井 修，田村正三
	平岡真寛
教育委員会担当理事	杉村和朗，松井 修
将来計画委員会担当理事	早淵尚文，本田 浩
国際渉外担当理事	宮坂和男，松井 修
健保委員会担当理事	中村仁信，本田 浩
放射線防護委員会担当理事	中村仁信，平岡真寛(法令担当)
電子情報委員会担当理事	石垣武男
用語委員会担当理事	田村正三
医学物理士認定委員会担当理事	山田章吾，池田 恢
各種賞，研究助成担当理事	宮坂和男
乳房撮影委員会担当理事	石垣武男
学会史編纂担当理事(含名誉会員の会)	杉村和朗
生物部会担当理事	池田 恢
IT化委員会担当理事	西谷 弘
JRC担当理事	隈崎達夫，石垣武男

	遠藤啓吾
	久保敦司, 中村仁信
	小西淳二(JRC監事)
監事	檜林 勇, 伊藤勝陽
大会, 諸部会, 諸会議, 諸委員会等の担当	
第40回秋季臨床大会長	宗近宏次
生物部会長	小野公二
日本医学会評議員	中村仁信
日本医学会連絡委員	大友 邦
日本医学会用語委員	田村正三
同 代委員	早淵尚文
日本医師会疑義解釈委員	田中良明
専門医認定制機構	松井 修, 田村正三
医学放射線物理連絡協議会	早淵尚文(議長), 池田 恢
医用原子力研究振興財団線量計校正監理委員会委員	池田 恢, 山田章吾
放射線防護連絡協議会	中村仁信

5. 会計について

隈崎会計理事より3月末日までの学会会計収支計算報告について資料に基づき説明がなされた。今期については月毎に前期と比較し学会会計収支計算報告を行うとの報告がなされた。

6. 各種委員会委員推薦について

前期理事会で決定された各種委員会の選出方法について早淵理事より資料をもとに説明がなされた。各種委員選出についての今後のスケジュールは各担当理事が各委員会委員案を20日まで事務局へ回答し、調整を行い次回理事会で最終決定とすることとした。

7. 日本医療機能評価機構から

日本医療機能評価機構から出された総合版評価体系による審査の見直しについて理事会で検討、学会として放射線関係の専門知識をもった調査員の増員について要望書を提出することとした。

8. 線量計校正監理委員会委員候補推薦依頼について

遠藤理事長より従来学会で行ってきた線量測定事業について4月から事業移管先である医用原子力振興財団で開始された旨の連絡があったとの報告がなされた。また医用原子力財団より線量計校正監理委員会委員の推薦依頼があり、理事会で検討後、池田恢理事、山田章吾理事を推薦することが了承された。

9. 会告の承認

4月号(事後報告)

- 第40回日本医学放射線学会秋季臨床大会案内II
- 第18回胸部放射線研究会案内
- 第17回頭頸部放射線研究会案内
- 第17回電子情報研究会案内
- 第14回救急放射線研究会案内

5月号 第63回日本医学放射線学会総会案内I

- 第33回断層映像研究会案内
- 第18回医学物理士認定試験受験資格認定のお知らせ
- 第18回医学物理士認定試験のお知らせ
- 第28回日本医学放射線学会医療用標準線量研究会案内

報告事項

1. 委員会報告

4月の総会にて開催された各委員会について報告がなされた。

2. 前理事会からの申し送り事項

前期理事会から、各担当理事の活動内容、検討事項、課題等を含め申し送り事項がだされ、これを確認した。

3. その他

今期から新設された学術・研究について杉村、平岡担当理事から活動方針について説明がなされた承された。

4. 平成16年理事会開催について

平成16年理事会は平成16年6月22日, 8月28日・29日, 10月27日, 12月25日, 1月25日, 3月16日を開催予定とすることが確認された。

第428回日本医学放射線学会編集委員会議事録

日 時: 2004年4月21日 16:00 ~ 18:00

出席: 久保敦司理事(委員長), 井上登美夫, 今井 裕
小久保 宇, 小泉 潔, 斉藤秀敏, 笹井啓資
牧田幸三, 原田潤太 各委員

欠 席: 西谷 弘理事, 稲田陽一, 鎌田 正, 窪田宣夫
三橋紀夫 各委員

日本医学放射線学会和文雑誌

投稿と査読状況(2004年1月~4月)の報告

平成16年1~3月の投稿数は、計10編であった。また現在、投稿受付中の論文は、再投稿待8編、査読結果待4編、査読手続中3編、掲載待ち8編であると報告された。

2004年5月号掲載論文の報告

採用論文のうち8編(原著4編, 研究速報2編, 症例報告1編, テクニカルノート1編)のほか総説1編, 地方会抄録3件を5月号に掲載することを決めた。

投稿規定について

邦文誌の投稿料の無料化にともなう投稿規定の変更を決め、5月号に新しい投稿規定を掲載することになった。

巻頭言の執筆を新理事に依頼を行った。

編集委員の任期満了に伴う後任委員の選任については、評議委員を対象とするアンケートをもとに候補者を選任することになり、次回の編集委員会まで決定を行う。

懸案であった館野之男先生のご執筆による「放射線医学史」の掲載については、7月号より掲載を行うことを決めた。

学術大会で行われた緊急シンポジウムについて、学会誌の付録として掲載する方向で検討を行い、その具体化についての交渉を行うことを決めた。

その他

英文誌(Radiation Medicine)

投稿原稿の現況報告

2004年1~4月の投稿は40編あり、急増していることが報告された。

22巻2号目次の承認ならびに22巻3号以降の掲載予定の報

告が行われた。

総説の執筆について、さきの委員会で学術大会の海外招請の演者に依頼することを決め、その対象はすべての演者とするを確認した。

論文査読のシステムについて、邦文誌と同様の形式とすることを検討した。編集委員が査読者を選定する際に参考とする査読者リストの所属確認をすること、及び査読者に対して再査読をするか否かを選択する欄を設けることとした。

第3 回放射線専門医認定委員会議事録

日 時：平成16年6月14日(月)11:00~17:00
 場 所：学会会議室
 出 席：松井 修(委員長・担当理事)
 平岡真寛(副委員長・担当理事)
 田村正三(担当理事)、玉木長良、晴山雅人
 渋谷 均、中島康雄、福田国彦、井上登美夫
 角谷真澄、竹田 寛、阪原晴海、杉村和朗
 西村恭昌、村田喜代史、西谷 弘、松永尚文
 工藤祥各委員
 欠 席：伊藤春海、山下康行各委員

報告・審議事項

(1) 修練機関・協力機関の申請 審査結果報告

各地区担当者より報告があり、審議した結果、

- 1) 2 病院については、基準を満たしていない部門の申請は認めない。
- 2) 協力機関で申請しているが、修練機関としても申請可能の施設もあり、次回申請に検討してもらうこととした。
- 3) 治療に関する協力機関の申請に関して、小線源の依頼先が抜けている施設もあるので、追加資料の提出を要求する。

(2) 試験関係

1) 受験者の資格審査

事務局からの報告に続いて審議が行なわれ、一次、二次試験受験者ともに資格に問題はないとの結論になった。

2) 口答試験に関して、松永委員より今回からの変更点の説明があった。試験官のPCを使用することによる経費の節減、モニターを用いた試験方法の改良である。これに関して、評価法、問題の質などについて議論があり、客観性を持たせる方向で更に検討することになった。今後のタイムスケジュールが決められた。

3) なお、試験問題の集積が不十分(特にIVR)であり、引き続き努力することになった。

4) 一次、二次試験問題に関して、各グループごとに分かれて検討した。

(3) 専門医修練のための基本ガイドライン作成について

委員長より、昨今専門医制度について厚生労働省の関心が高まり、専門医修練者(受験予定者)について基本ガイドラインを設定

して、その到達度を自己チェックすること、また専門医制度について外部評価を受けることが必要となっている現状説明があった。肝臓学会、整形外科学会では、研修手帳といったものを既に作成しており、日本医学放射線学会としてもしっかりした対応を行ないたいとの方針が示された。少なくとも、Minimal requirementsの策定は急いで行なう必要があることを強調された。実行する場合に、放射線専門医会で具体案を作成して本委員会で承認する、あるいは本委員会の中に小委員会を作り、その中で活動する2つの方法が考えられ、この委員会で検討して欲しいとの提案があった。

既に、専門医会では一部活動を始めており対応してもらってはどうか、専門医会は専門医の職域団体であり、専門医修練者の基本ガイドライン作成には学会の委員会が直接関与するのが望ましい、両者が合同で対応してどうか、などの意見が出された。なお、Minimal requirementsの策定の重要性についてはコンセンサスが得られ、1987年日医放誌に掲載された修練要綱、草野の出題基準(ホームページに掲載)を参考にすることになった。

今後については、どのような組織、体制で対応するのが適切かを検討する小委員会を組織して対応することになり、委員長により、平岡真寛が小委員長に指名された。

(4) JASTRO認定医と日医放の専門医の関係をどうするか。

JASTRO認定医と日医放の専門医(治療での受験者)の関係をすっきりしたいとの意見が出され、議論された。癌拠点病院の施設基準に日医放の専門医でなくJASTRO認定医が書かれている指摘もなされた。今後、早瀬JASTRO総務理事から返答がなされる予定であるとのコメントが出された。

事務局からのお知らせ

1. 学会の定款変更に伴う事務所移転が6月17日付けで文部科学省より認可されましたので御連絡致します。

新しい事務所の住所は下記の通りです。なお電話番号、Fax番号は従来通りとなります。

〒113-0033

東京都文京区本郷5丁目1番16号

NP-IIビル3階

社団法人 日本医学放射線学会

TEL: 03-3814-3077

FAX: 03-5684-4075

最寄り駅: 地下鉄丸の内線本郷三丁目 徒歩3分

2. 住所・勤務先変更の届け出について

毎月の日医放会誌が正確にお手許にお届けできるよう、適時、住所・勤務先変更のお届けをお願いしております。

学会ホームページ <http://www.radiology.or.jp> より、変更登録をお願い致します。御自身で直接変更されるのが、迅速で確実です。ご協力をお願い致します。